

●介護職員等特定処遇改善加算

《職場環境要件の提示について》

見える化要件に基づき、賃金以外の処遇改善に関する具体的な取り組み内容を下記に掲示致します。

	職場環境要件項目	当法人としての取り組み
資質の向上	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援（研修受講時の他の介護職員の負担を軽減するための代替職員確保を含む）	勤務調整や希望休暇など研修や講習が受講しやすいよう業務環境を整え支援している。
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	介護職員キャリアパス評価を実施し、人事考課と連動している。施設内研修や研究発表などを通じリスクヘッジと意欲向上を目的として開催している。
労働環境 処遇の改善	ICT活用（ケア内容や申し送り事項の共有（事業所内に加えタブレット端末を活用し訪問先でアクセスを可能にすること等を含む）による介護職員の事務負担軽減、個々の利用者へのサービス履歴・訪問介護員の出勤情報管理によるサービス提供責任者のシフト管理に係る事務負担軽減、利用者情報蓄積による利用者個々の特性に応じたサービス提供等）による業務省力化	アザリア関連事業所の利用者情報等はネットワークにて共有されており、介護ソフトにて情報を電子化し業務の合理化・負担の軽減に取り組んでいる。
	子育てとの両立を目指す者のための育児休業制度等の充実、事業所内保育施設の整備	育児休業率ほぼ100%の実績で、育児との両立サポートに取り組んでる。業務復帰へのサポートとして、外部保育施設との提携をした。
	介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボットやリフト等の介護機器等導入	特殊浴槽・電動低床ベッドを導入し、介護職員の腰痛対策を行っている。
	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	部署長クラスのミーティング、スタッフ間の会議、職員個々の面談などを定期的実施している。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成による責任の所在の明確化	ISO9001-2015を取得し、リスクマネジメントの仕組みを構築している。
その他	非正規職員から正規職員への転換	非正規職員から正規職員への転換を推奨している。